



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月1日

上場会社名 タカラスタンダード株式会社
コード番号 7981 URL <https://www.takara-standard.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 岳夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理部管掌 (氏名) 梅田 馨
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6962-6002

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	179,412	3.9	10,718	7.5	11,060	5.8	8,239	5.2
2023年3月期第3四半期	172,722	7.4	9,971	△26.4	10,456	△25.1	7,831	△15.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 9,130百万円 (15.6%) 2023年3月期第3四半期 7,896百万円 (△11.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	118.58	—
2023年3月期第3四半期	109.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	268,393	183,363	68.3	2,683.21
2023年3月期	279,878	181,516	64.9	2,579.88

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 183,363百万円 2023年3月期 181,516百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2024年3月期	—	27.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,300	3.5	12,300	12.4	12,600	9.7	9,500	12.9	139.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2024年2月1日)公表いたしました「2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	70,368,194 株	2023年3月期	70,368,194 株
2024年3月期3Q	2,030,976 株	2023年3月期	9,747 株
2024年3月期3Q	69,485,968 株	2023年3月期3Q	71,815,718 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇の影響はあるものの、経済活動の正常化に伴いインバウンド需要を中心に緩やかな回復基調にて推移いたしました。

住宅市場におきましては、新設住宅着工戸数は持家や分譲住宅の減少により前年を下回っているものの、リフォーム需要は底堅く推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループは、長期化する資材・エネルギー価格高騰への対策として、合理化投資による生産性の向上やデジタル技術の活用に取り組むとともに、2023年4月のシステムキッチンや洗面化粧台の価格改定に続き8月にシステムバスについても改定を行い、収益力の改善に注力してまいりました。

商品面での取組みにつきましては、ホーローシステムキッチンのフラッグシップモデル「レミュー」のモデルチェンジやホーロー製レンジフード「キープクリーンフード」(2023年度グッドデザイン賞受賞)を発売するなど、高いデザイン性と機能性の両方を実現し、高級価格帯での売上拡大を図ってまいりました。

ショールーム展開といたしましては、大阪ショールームや福岡ショールーム、神奈川県・港北ショールームの全面リニューアルにより展示内容の充実を図るなど、リフォーム需要の掘り起こしを行ってまいりました。

以上の諸施策の推進により、第3四半期連結累計期間における売上高は、価格改定の反映も下期は順調に推移し、過去最高となる1,794億1千2百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益107億1千8百万円(同7.5%増)、経常利益110億6千万円(同5.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益82億3千9百万円(同5.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①住宅設備関連事業

当セグメントの売上高は1,792億1千8百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益は105億4千4百万円(同7.7%増)となりました。

当セグメントの製品部門別の状況は、次のとおりであります。

a キッチン

新築市場、リフォーム市場ともに価格改定の効果もあり、売上が拡大しました。新築市場におきましては木製システムキッチンの拡販が進み、リフォーム市場におきましては2023年8月にモデルチェンジしましたホーローシステムキッチン「レミュー」の拡販が進んだことから、売上高は1,072億9千5百万円(前年同四半期比3.9%増)となりました。

b 浴室

新築市場、リフォーム市場ともに価格改定の効果もあり、売上が拡大しました。2022年8月に発売しましたシステムバス「グランスパ」がリフォーム市場を中心に、新築市場でも拡販が進んだことに加え、新築マンション向けシステムバスも順調に拡販が進んだことから、売上高は437億2千3百万円(前年同四半期比6.9%増)となりました。

c 洗面化粧台

新築市場、リフォーム市場ともに価格改定の効果もあり、売上が拡大しました。新築市場におきましては木製洗面化粧台の拡販が進み、リフォーム市場におきましては2023年8月にモデルチェンジしましたホーロー洗面化粧台「エリーナ」の拡販が進んだことから、売上高は205億1千5百万円(前年同四半期比4.1%増)となりました。

②その他の事業(不動産賃貸事業及び倉庫事業等)

売上高は3億1千1百万円(前年同四半期比1.7%減)、営業利益は1億7千3百万円(同1.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ114億8千4百万円減少し、2,683億9千3百万円となりました。主な減少は、現金及び預金242億1千7百万円であり、主な増加は、電子記録債権60億1千万円、売掛金36億1千9百万円、有形固定資産17億1千7百万円、棚卸資産7億9千8百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ133億3千1百万円減少し、850億3千万円となりました。主な減少は、電子記録債務110億2千2百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ18億4千6百万円増加し、1,833億6千3百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益82億3千9百万円、その他有価証券評価差額金5億1千8百万円であり、主な減少は、剰余金の配当による36億9千2百万円、自己株式の取得による35億9千万円であります。

この結果、自己資本比率は68.3%（前連結会計年度末は64.9%）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ242億1千7百万円減少し、561億5千9百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、115億7千3百万円（前年同四半期は8億8千1百万円の増加）となりました。主な要因は、一部の購入先及び物流事業者への支払いを早期化したことによる仕入債務の減少や、売上債権の増加による資金の減少と、税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、49億2千7百万円（前年同四半期は33億5千4百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出と、投資有価証券の売却による収入であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は、77億1千6百万円（前年同四半期は93億1百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払い及び自己株式の取得による支出であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、2023年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

詳細については、本日（2024年2月1日）公表いたしました「2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,376	56,159
受取手形	4,545	4,337
売掛金	33,376	36,996
電子記録債権	30,824	36,835
商品及び製品	13,602	12,689
仕掛品	4,245	4,830
原材料及び貯蔵品	6,400	7,526
その他	410	1,561
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	173,775	160,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,490	23,780
土地	36,765	36,464
その他(純額)	22,113	24,841
有形固定資産合計	83,369	85,086
無形固定資産	1,651	1,782
投資その他の資産		
投資有価証券	12,057	12,339
その他	9,033	8,265
貸倒引当金	△9	△10
投資その他の資産合計	21,081	20,594
固定資産合計	106,102	107,463
資産合計	279,878	268,393

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,953	17,870
電子記録債務	31,937	20,914
短期借入金	8,100	7,650
未払法人税等	1,970	1,672
その他	14,140	14,518
流動負債合計	76,102	62,626
固定負債		
退職給付に係る負債	18,767	18,876
その他	3,492	3,527
固定負債合計	22,259	22,403
負債合計	98,361	85,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,356	26,356
資本剰余金	30,734	30,734
利益剰余金	120,322	124,842
自己株式	△12	△3,603
株主資本合計	177,402	178,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,784	5,303
土地再評価差額金	1,969	1,997
退職給付に係る調整累計額	△2,639	△2,268
その他の包括利益累計額合計	4,114	5,032
純資産合計	181,516	183,363
負債純資産合計	279,878	268,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	172,722	179,412
売上原価	114,328	118,594
売上総利益	58,394	60,817
販売費及び一般管理費	48,422	50,099
営業利益	9,971	10,718
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	453	364
その他	107	62
営業外収益合計	565	430
営業外費用		
支払利息	37	32
製品安全対策費用	17	24
その他	25	30
営業外費用合計	79	87
経常利益	10,456	11,060
特別利益		
固定資産売却益	156	62
投資有価証券売却益	1,479	1,253
特別利益合計	1,636	1,315
特別損失		
固定資産除却損	290	280
固定資産売却損	172	125
投資有価証券評価損	7	—
減損損失	44	16
創業110周年記念費用	228	—
特別損失合計	743	422
税金等調整前四半期純利益	11,349	11,953
法人税等	3,517	3,713
四半期純利益	7,831	8,239
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,831	8,239

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	7,831	8,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△288	518
退職給付に係る調整額	353	371
その他の包括利益合計	65	890
四半期包括利益	7,896	9,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,896	9,130
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,349	11,953
減価償却費	4,970	5,294
減損損失	44	16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	410	644
受取利息及び受取配当金	△457	△367
支払利息	37	32
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,477	△1,253
投資有価証券評価損益 (△は益)	7	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	15	60
有形固定資産除却損	290	280
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,474	△9,347
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,565	△798
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,076	△14,024
その他	△1,741	△929
小計	5,487	△8,436
利息及び配当金の受取額	457	367
利息の支払額	△35	△31
法人税等の支払額	△5,028	△3,472
営業活動によるキャッシュ・フロー	881	△11,573
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△22	△15
投資有価証券の売却による収入	2,205	1,732
有形固定資産の取得による支出	△6,280	△6,729
有形固定資産の売却による収入	978	510
無形固定資産の取得による支出	△194	△407
貸付金の回収による収入	89	69
その他	△130	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,354	△4,927
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,600	△450
自己株式の取得による支出	△3,531	△3,590
配当金の支払額	△4,169	△3,675
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,301	△7,716
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,774	△24,217
現金及び現金同等物の期首残高	88,607	80,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	76,833	56,159

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,021,100株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,590百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,603百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額(注) 2
	住宅設備関連				
売上高					
商品及び製品	152,004	—	152,004	—	—
工事	20,517	—	20,517	—	—
その他の売上高	—	21	21	—	—
顧客との契約から 生じる収益	172,521	21	172,543	—	—
その他の収益	—	179	179	—	—
外部顧客への売上高	172,521	201	172,722	—	172,722
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	115	115	△115	—
計	172,521	316	172,838	△115	172,722
セグメント利益	9,794	176	9,971	—	9,971

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び倉庫事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額(注) 2
	住宅設備関連				
売上高					
商品及び製品	157,712	—	157,712	—	—
工事	21,506	—	21,506	—	—
その他の売上高	—	23	23	—	—
顧客との契約から 生じる収益	179,218	23	179,242	—	—
その他の収益	—	169	169	—	—
外部顧客への売上高	179,218	193	179,412	—	179,412
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	117	117	△117	—
計	179,218	311	179,530	△117	179,412
セグメント利益	10,544	173	10,718	—	10,718

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び倉庫事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。